

～ 学校便り～

初志貫徹

しよ し かん てつ

6月号

<本校の在籍>

1年 (90名) 4年 (94名)

2年 (85名) 5年 (105名)

3年 (102名) 6年 (105名)

全児童数 (581名)

学級数 (23) ※特支援学級(5)



うるま市立 赤道小学校

住所

〒904-2245 うるま市字赤道 921 番地

電話

(098) 973-1218 FAX (098) 974-7124

発行者

校長 幸喜 徹 (こうき とおる)

発行日

令和元 (2019) 年6月11日 (火)

梅雨に入り、すっきりとしない天気が続く今日この頃ですが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。5月は避難訓練(不審者)、市実力テスト(5年)、そして1年生を迎える会等が行われ、どの子も意欲的に活動することができましたが、中でも1年生の集団生活に順応した態度が印象的でした。このような学校行事等の際の、相手の話に傾聴する姿勢や、物事をしっかりと考え、迅速に行動できる赤道っこの態度は本当にすばらしく、その背景には保護者の皆様の家庭教育のすばらしさがあるであろうと考えております。

又、先日の日曜授業参観には522名(世帯数は409)の保護者等の皆様、PTA総会には約150名の会員の皆様に御参加頂きました。このような保護者の皆様の本校教育への熱い思いや姿勢は赤道小の強みであり、今後も学校と家庭・地域の連携(コミュニティ・スクール)にもよい相乗効果をもたらす事と確信しております。

本校ではこれからも、「子ども達を預らせて頂いている」の思いを大切に、全教職員が一丸となって、一人一人が輝く「赤道っこ」の育成をめざし、保護者の皆様との信頼関係構築に努めてまいります。

<6・7月の主な行事予定>

6月			7月		
2	日	PTA美化作業①	2	火	4年自転車教室
4	火	体力テスト ※～6日	4	木	七夕集会
7	金	市教委学校訪問 A	10	水	学校保健委員会
11	火	4年浄水場等見学	12	金	授業参観日
14	金	校内研修(6年授業)			5年人権教室
17	月	内科検診 ※～19日			コミュニティ・スクール運営協議会
20	木	授業参観日・平和集会	15	月	海の日
23	日	慰霊の日	19	金	第1学期終業式
24	月	2年PTA行事	22	月	個人面談 ※～26日
28	金	特支援合同スポレク大会	*	*	***

PTA美化作業、ありがとうございました!

6月2日(日)、今年度第1回目のPTA作業が行われました。休日にもかかわらず、約170名(保護者64名、児童75名、幼小職員32名)の皆様に参加して頂きました。サッカークラブの皆さんにおかれては、作業当日は大会等が行われるとのことで、事前に草刈り等の作業をして頂きました。お陰様をもちまして、子ども達が安全に活動しやすい教育環境を整えることができました。御協力を頂いた皆さん、本当にありがとうございました。



うるま市教育委員会 学校訪問A

6月7日(金)、授業改善を支援し、学力の向上に資する等の趣旨の下、うるま市教育委員会による学校訪問が実施されました。当日は、大石英助教育長職務代理者他7名の指導主事が来校され、学校経営や指導方法等について多くの示唆を頂きました。下記の主な指導・助言を今後の学校経営に生かしていきます。



- ① どの学級も学習規律が整い、子どもたちに落ち着きが見られる。
- ② 教師の指導力が高く、わかる授業が実践されている。
- ③ 学力の定着が図られている。 ※諸調査結果より
- ④ 机間指導は1時間の授業で3回は実施して欲しい。
- ⑤ ボイスシャワー、聴くことの指導を継続実践して欲しい。

給食当番、マスク着用で清潔に!

学校給食は成長期にある児童の心身の健全な発達のために、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てる等のねらいがあります。



そのため本校では、児童が安全・衛生に留意した食事の準備や後片付けが行えるよう、今年度より給食時における「マスク着用」を奨励しています。御家庭の方には何かと御負担を頂くこととなりますが、御理解と御協力の程よろしくお願い致します。

避難訓練(不審者対応)

5月23日(木)、不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました。今回は2年1組付近に不審者が侵入、その後幼児児童に被害がないように教職員で不審者を取り押さえるという訓練でした。うるま警察署の仲根警部補からは、教職員に対しては「刺叉の使い方」、児童に対しては「大きな声で助けを呼ぶ」「子ども110番を利用する」「いかのおすしを大切に」等の助言を頂きました。



教職員「校内研修(学級経営)」

5月24日(金)、琉球大学教授の丹野清彦氏を講師としてお招きし、校内研修「授業に集中できない子と学級作り」を行いました。

丹野氏のお話では、充実した学級経営を行うためには、「授業に集中できない子の阻害要因を考える」「気になる子のバックボーンを理解してあげる」そして「教職員で共通対処・実践」がとても大切であるとの事でした。



